

「段ボールコンポストモニター」アンケート結果について

◆調査概要◆

- ①モニター数 27人
- ②実施期間 平成25年2月7日～平成25年6月28日
- ③回答状況 27人中23人が回答（回答率85.2%）

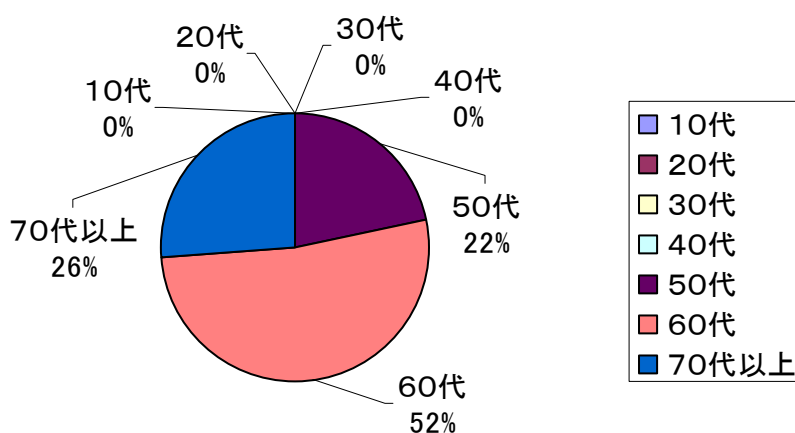
◆アンケート結果◆

1 モニターの概要

今回のアンケートに対する回答者（23名）の基礎的事項は以下のとおりです。

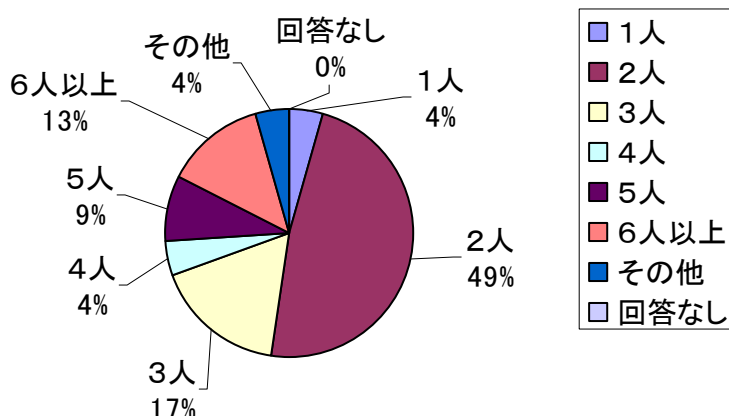
①年代

10代～40代	0名
50代	5名
60代	12名
70代以上	6名
合計	23名



②世帯人数

1人	1名
2人	11名
3人	4名
4人	1名
5人	2名
その他	4名
合計	23名

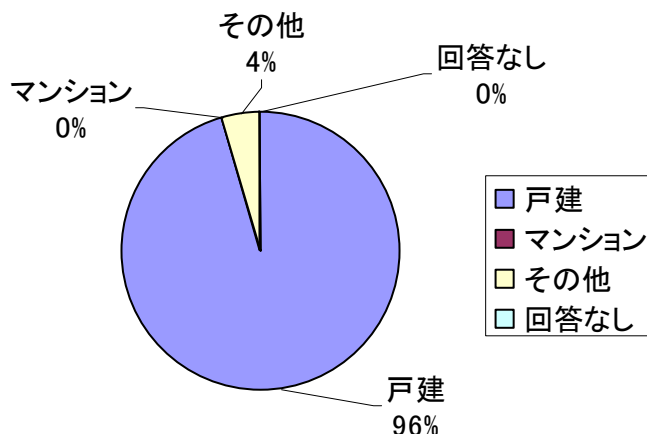


○その他の回答

6人、7人、8人
コミュニティセンター

③住宅の形態

戸建て	22名
マンション等	0名
その他	1名
合計	23名



○その他の回答

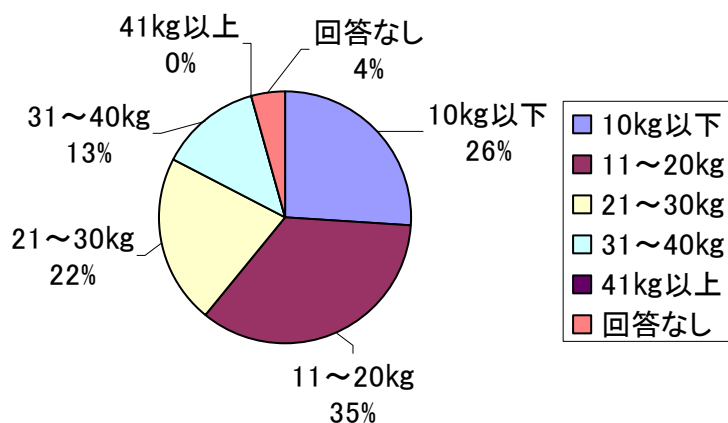
コミュニティセンター

2 調査結果

調査結果は以下のとおりです。

①生ごみ投入量

10 kg以下	6名
11～20 kg	8名
21～30 kg	5名
31～40 kg	3名
41 kg以上	0名
回答なし	1名
合計	23名



◇投入推計量 (kg)

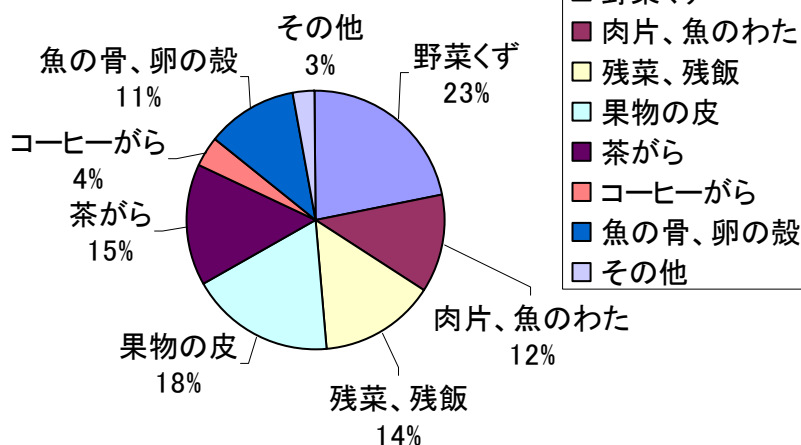
モニター1名あたり10 kg以下は5 kg、11～20 kgは15 kg、21～30 kgは25 kg、31～40 kgは35 kgとして計算すると投入量は以下のとおりです。

	10未満	11～20	21～30	31～40	41以上	回答なし	合計
人数	6名	8名	5名	3名	0名	1名	23名
投入推計	30 kg	120 kg	125 kg	105 kg	0 kg	—	380 kg

■モニター期間中、380 kgがもえるごみとして焼却処分されず、堆肥化されたことになります。

②生ごみの種類 (複数回答可)

野菜くず	23名
肉片、魚のわた	13名
残菜、残飯	15名
果物の皮	19名
茶がら	16名
コーヒーがら	4名
魚の骨、卵の殻	12名
その他	3名



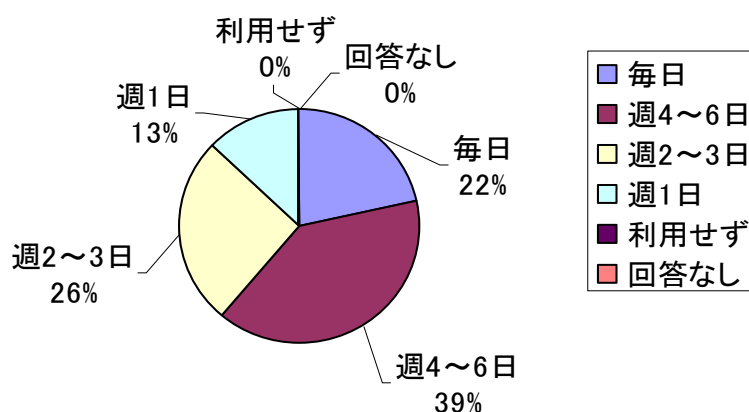
○その他の回答

えびの殻、米ぬか

出汁かす (煮干、鰹節)

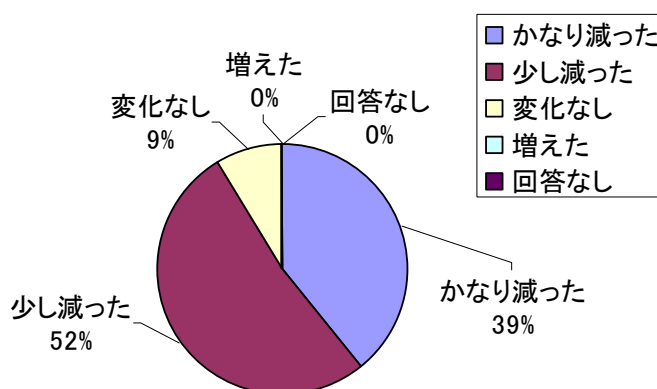
③段ボールコンポスト利用頻度

毎日	5名
週4～6日	9名
週2～3日	6名
週1日	3名
利用せず	0名
回答なし	0名
合計	23名



④ごみの量は減ったか。

かなり減った	9名
少し減った	12名
変化なし	2名
増えた	0名
回答なし	0名
合計	23名



◇「かなり減った」と回答したモニターの投入量推計

	10未満	11～20	21～30	31～40	41以上	回答なし	合計
人数	2	2	3	2	0	0	9
投入推計	10kg	30kg	75kg	70kg	0kg	—	185kg

◇「少し減った」と回答したモニターの投入量推計

	10未満	11～20	21～30	31～40	41以上	回答なし	合計
人数	3	5	2	1	0	1	12
投入推計	15kg	75kg	50kg	35kg	0kg	—	175kg

◇「変化なし」と回答したモニターの投入量推計

	10未満	11～20	21～30	31～40	41以上	回答なし	合計
人数	1	1	0	0	0	0	2
投入推計	5kg	15kg	0kg	0kg	0kg	—	20kg

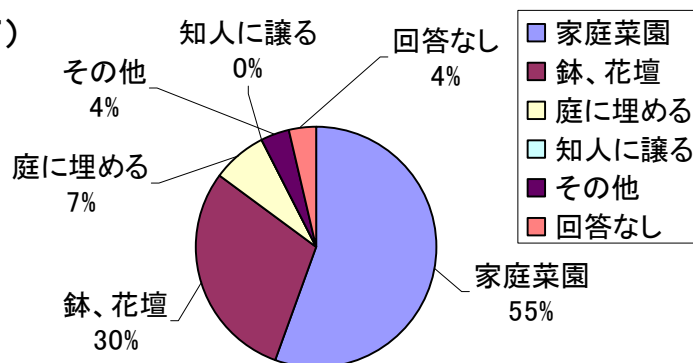
※生ごみ投入量・・・1世帯あたり約4kg/月

※総人口50,194人、総世帯数19,409世帯（平成25年5月末現在）

■本町の全世帯が段ボールコンポストに取り組むと仮定した場合、1年間にもえるごみ約930tが減量できることになります。

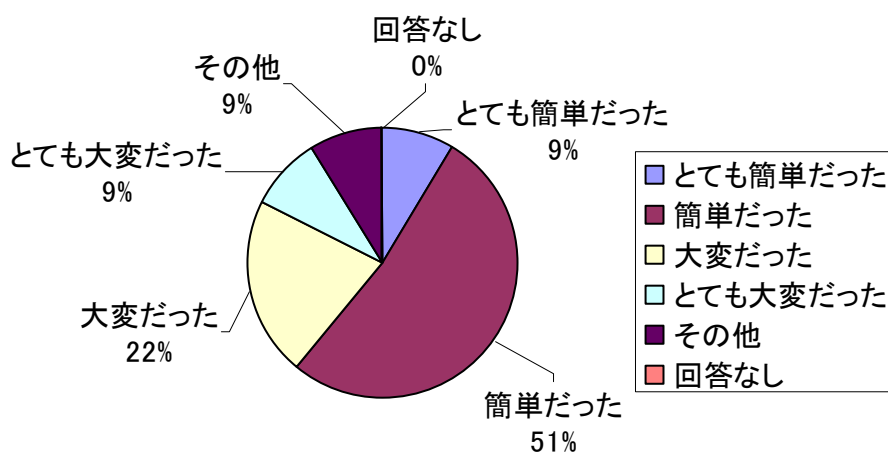
⑤出来た堆肥の利用予定（複数回答可）

家庭菜園	15名
鉢、花壇	8名
庭に埋める	2名
知人に譲る	0名
その他	1名
回答なし	1名



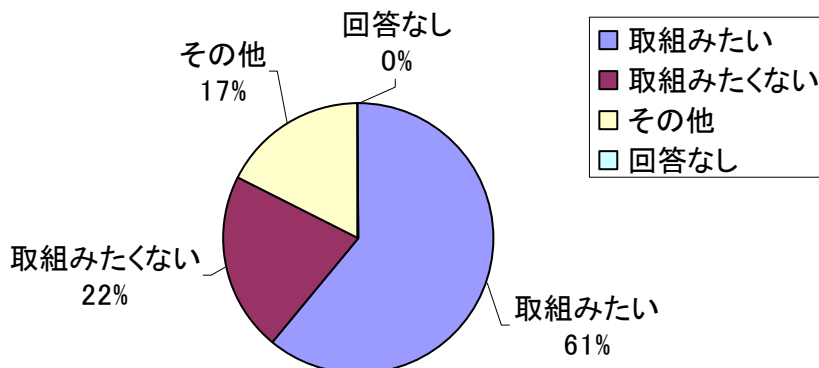
⑥取り組みはどうだったか。

とても簡単だった	2名
簡単だった	12名
大変だった	5名
とても大変だった	2名
その他	2名
合計	23名



⑦今後も取り組みたいと思うか。

取り組みたい	14名
取り組みたくない	5名
その他	4名
合計	23名



○その他の回答

においの問題がある。
夏場の取り組みは避けたい。

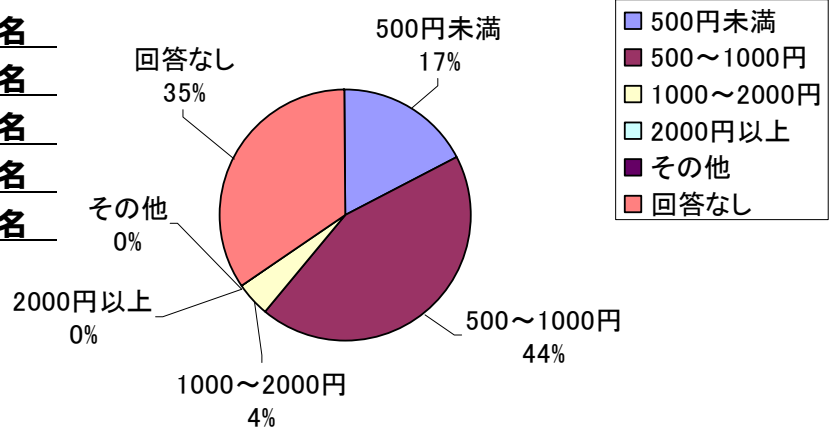
◇⑥⑦のまとめ

	人数	取り組みたい	取り組みたくない	その他
とても簡単だった	2名	1名	0名	1名
簡単だった	12名	9名	1名	2名
大変だった	5名	3名	2名	0名
とても大変だった	2名	0名	1名	1名
その他	2名	1名	1名	0名
合計	23名	14名	5名	4名

虫の発生や臭いの問題、生ごみを投入し混ぜ合わせることが面倒臭いといったことが、「取り組みたくない」「その他」の主な意見であった。

⑧資機材等の購入はどの程度の負担がよいか。

500円未満	4名
500～1000円	10名
1000～2000円	1名
2000円以上	0名
その他	0名
回答なし	8名



⑨段ボールコンポストを使って良かった点（主な意見等）

- ・ ゴミを出す量が少し減った。
- ・ 可燃ゴミが減り、ゴミ袋（小）で十分だった。
- ・ 生ゴミが減少した。
- ・ 生ゴミをゴミとして出さずに済んだ。
- ・ 生ゴミの量が減り、収集日にゴミを出すのが楽になった。
- ・ 生ゴミ減量への意識が高まった。
- ・ 社会や地域貢献の意識が高まった。
- ・ 生ゴミを出さないことで可燃ゴミが減り、ゴミステーションがきれいになった。
- ・ 生ゴミが土にかえる様子が学べた。
- ・ 堆肥化できるため、生ゴミが貴重に思えた。
- ・ 簡単で堆肥が作り易かった。
- ・ 生ゴミを食材同様細かく切ることにより堆肥化が早くすすんだ。
- ・ 臭いが気にならなかった。
- ・ 回収日まで魚類の生ゴミ等の臭気が気になっていたが、取り組むことで解消された。
- ・ 台所で生ゴミ臭がしなくなった。
- ・ 生ゴミが腐ることもなく、衛生的に処理ができた。
- ・ 思ったより臭いは少なかった。EM菌を使ったゴミ処理よりも簡単だった。
- ・ 思っていた以上に虫も来ないし、臭いも気にならなかった。まめに混ぜていると上手に出来そうである。
- ・ 野菜くず等細かく刻むようになり、流し台がきれいになった。
- ・ 段ボールは軽く、扱いやすい大きさだった。

⑩段ボールコンポストを使って気になった点（主な意見等）

＜臭気、虫＞

- ・コバエが出るのが気になる。
- ・ハエが気になり夏は中止した。
- ・コバエが増える。
- ・夏場は虫が気になり使いづらい。
- ・取り組みは気温の低い時期であったため気にならなかったが、夏場の臭気や虫の発生が気になる。
- ・気温が上がり、虫除けキャップにコバエが数匹発生するようになり、殺虫剤を噴射させごみを投入することになった。
- ・腐敗臭とは違うが、においが気になる。
- ・虫の発生が気になる。
- ・ハエの発生。原因がわからない。
- ・ウジが発生してきた。段ボールは外に置けなかった。
- ・コバエ等の虫の発生が心配
- ・家族に臭いが気になるといわれ、家族がいないときに混ぜるしかなかった。

＜水分＞

- ・出来上がった堆肥がバサバサしていること。（水分が足りないようだ）
- ・水分（米のとぎ汁等）をどの位入れたら良いかわからない。
- ・水分が少なくなり乾燥してしまったため、水を加えたら段ボールにしみこんでしまった。生ごみによってうまくいかないため、難しい。
- ・世帯が少人数のため生ごみの水分が少なく乾燥気味で発酵が進みにくかった。今後はコバエの発生が心配。
- ・水分の量が難しい。（入れすぎると段ボールが湿る。）

＜設置場所＞

- ・段ボールコンポストの適当な置場がなく、「台所から遠い」「雨が当たる」こともあり、使いづらいことがある。
- ・激しい雨が振込むと段ボールが濡れてしまい崩れるのではないかと心配だった。
- ・置き場所に困った。
- ・雨天時、ビニールをかぶせることを忘れてしまう。
- ・雨にあたらない場所にしか置けず、臭いに問題があった。

＜資機材について＞

- ・家族の人数が多く、段ボール1箱では足りなかった。
- ・段ボールは湿気を帯びて劣化してくる。（特に上蓋）
- ・段ボールコンポストの資機材の購入場所がわからない。
- ・資機材は使用できるが、段ボールが壊れてきて使用できない。
- ・適当な段ボールを探すのが大変。
- ・段ボールが風向きによって濡れることがあったため、少量の雨をしのぐことができるカバーがあるのか。購入できるか。教えてほしい。
- ・基材の購入先や購入方法が知りたい。

＜取り組みについて＞

- ・段ボールの底がぬけてしまった。
- ・しゃもじでは混ぜにくかった。
- ・思っていたより大変だった。
- ・手間がかかる
- ・基材が混ざりきっていなかった。

＜その他＞

- ・質問など専用のメールアドレスが知りたい。
- ・自家で野菜を作っているため、残菜が多く段ボールコンポストでは対応できなかった。コンポストが向いていると思った。
- ・新たに基材を購入し、クーラーボックスでも挑戦してみようと思っている。
- ・使用方法がわからなかった。

◇まとめ

虫（小ハエ、うじ等）の発生や管理、設置場所の問題について多くのモニターからご意見をいただき、今後の取り組みを躊躇される人もいると考えられます。

虫の発生は、完全に防止することはできないため、虫の発生を抑制する方法を周知しつつ、虫の発生が避けられないことを前提とした普及啓発や、安価で取り組むことができる反面、十分な混ぜ合わせや生ごみの選別、設置場所の確保等、手間を掛けることが必要となることについて十分な情報提供をしながら普及啓発する必要がある。

今回のモニター結果から、段ボールコンポストには、においや虫の発生、段ボールの管理等の負担や投入する生ごみの選別やかき混ぜる作業、設置場所などスペースの問題等があり、取り組みを躊躇させる要素があるといえますが、約6割のモニターが「簡単だった」と回答されています。特殊な備品が不要なく比較的安価で取り組むことができるため、きちんと活用できればごみ減量に大きな効果が得られると考えます。

段ボールコンポスト モニターアンケート(実績報告書)

平成 年 月 日

モニター氏名

該当する記号に○を付けてください。

問1 主に取組みをされた方の年代を教えてください。

- ア) 10代 イ) 20代 ウ) 30代 エ) 40代 オ) 50代 カ) 60代
キ) 70代以上

問2 世帯の人数を教えてください。

- ア) 1人 イ) 2人 ウ) 3人 エ) 4人 オ) 5人 カ) その他(人)

問3 あなたの住宅形態を教えてください。

- ア) 戸建て イ) マンション・アパート ウ) その他()

問4 モニター期間中、投入した生ごみの量はどのくらいですか。

- ア) 10 kg以下 イ) 11～20 kg ウ) 21～30 kg エ) 31～40 kg
オ) 41 kg以上

問5 投入した生ごみの種類は、どのようなものですか。(複数回答可)

- ア) 野菜くず イ) 肉片、魚のわた ウ) 残菜、残飯 エ) 果物の皮
オ) 茶がら カ) コーヒーがら キ) 魚の骨、卵の殻 ク) その他()

問6 どのくらいの割合で段ボールコンポストを利用しましたか。

ア) 毎日 イ) 週4～6日 ウ) 週2～3日 エ) 週1日 オ) 利用せず

問7 モニター期間中、可燃ごみの量は減りましたか。

ア) かなり減った イ) 少し減った ウ) 変化なし エ) 増えた

問8 出来た堆肥は、どのように利用する予定ですか。(複数回答可)

ア) 家庭菜園 イ) 鉢、花壇 ウ) 庭に埋める エ) 知人に譲る

オ) その他 ()

問9 段ボールコンポストの取組みはいかがでしたか。

ア) とても簡単だった イ) 簡単だった ウ) 大変だった

エ) とても大変だった オ) その他 ()

問10 今後も段ボールコンポストに取り組んでみたいと思いますか。

ア) 取り組みたい イ) 取り組みたくない ウ) その他 ()

問11 問10において「a. 取り組みたい」に○を付けた方にお伺いします。

資機材等の購入は、どのくらいの負担であれば良いと思いますか。

ア) 500円未満 イ) 500～1,000円 ウ) 1,000～2,000円

エ) 2,000円以上 オ) その他 ()

問 12 段ボールコンポストを使って良かった点をご記入下さい。

問 13 段ボールコンポストを使って気になった点をご記入下さい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。